

単元名 Unit 5 Do you have a pen? おすすめの文房具セットをつくろう

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。
 (2) 文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。
 (3) 相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。

標準的な展開例

04160201_001

【準備等】 デジタル教材、大型テレビ、指導者用絵カード、ビンゴゲームカード、文房具絵カード、振り返りシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 文房具の言い方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ウォームアップ Let's Chant "What time is it?" ★ 文房具の言い方を知ろう。 ○ 何があるか予想する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者のかばんの中身を予想する。 ○ Let's Watch and Think 1 映像を見て、何がいくつあるか考える。 ○ キーワードゲーム ○ Let's Play 1 I spy ゲームをする。 I spy with my little eyes ..., something blue. ○ 学習の振り返りをする。 <p>2 かばんの中身を尋ねる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ウォームアップ Let's Chant "What day is it?" ★ 持っている物と持っていない物を伝え合おう。 ○ ビンゴゲーム ○ Do you have ゲームをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵カードを2セット分配る。 A: Do you have a pencil? B: Yes, I do. / No, I don't. ○ Let's Chant "Do you have a pen?" ○ 学習の振り返りをする。 <p>3 かばんの中身を尋ねたり、答えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ウォームアップ ・ Let's Chant "Do you have a pen?" ★ 友達の持っている文房具を尋ねよう。 ○ Let's Listen 登場人物の筆箱の中身を聞き、□に名前を書く。 ○ キーワードゲーム ○ Let's Watch and Think 2 映像を見て、世界の子供たちのかばんの中身について気付いたことを書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英語を話す雰囲気をつくる。 ・ かばんの中に筆箱、ノート、本、教科書、ホッチキス、マグネット、ハンカチなどを入れておく。 ・ 一つずつ紹介していく。 ・ 児童と"Do you have a pencil in your desk?"や"How many pencils? Let's count together."などと聞き、やり取りをさせる。 ・ 文房具の言い方を確認して、それぞれがいくつあるかと尋ねた後で映像を見せる。 ・ 文房具でキーワードゲームをさせる。 ・ キーワードゲームについてはU3第3時の「留意事項など」を参照する。 ・ 指導者が持ち物のヒントを言い、児童の持ち物から同じ物を探させる。 ・ 指導者が言った物を確認させ、合っていたら1ポイントとする。 【評】 指導者が言った文具を聞き取り、それを探す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。 ・ 英語を話す雰囲気をつくる。 ・ 児童用絵カードを9枚並べさせる。 ・ 指導者が"Do you have ...?"と聞き、ある場合は"Yes, I do."と言わせ、裏返させる。 ・ 慣れてきたら、児童に"Do you have ...?"と尋ねさせる。 ・ 4人一組(偶数)を作り、ババ抜き の要領でゲームを進めさせる。 ・ ゲームを開始する前に、"Do you have ...?"の表現を繰り返し確認し、自信をもち活動に取り組ませる。 【評】 持っている文房具を尋ねたり、答えたりする活動を通して、「知識・技能」を評価する。 ・ 2～3回繰り返しさせる。 ・ 初めは動画を視聴させる。慣れてきたら、ペアになり1人が質問し、もう1人が答えるという形をとらせる。 ・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。 ・ 2～3回繰り返しさせる。 ・ 指導者も一緒になって言い、楽しい雰囲気をつくる。 ・ 登場人物の文房具の数や色に注意して聞くように伝える。 ・ 文房具でキーワードゲームをさせる。 ・ キーワードゲームについてはU3第3時の「留意事項など」を参照する。 ・ 数名の児童にかばんの中身を尋ね、世界の子供たちのかばんの中身を予想させて聞かせることで、興味をもち動画を視聴させる。

○Let's Play 2 文房具セットを作り、友達と伝え合う。

A: Do you have a pen?

B: Yes, I do. / No, I don't.

○学習の振り返りをする。

4 友達の好みの文房具セットを作る。

○ウォームアップ

Let's Chant "Do you have a pen?"

★文房具セットを作ってプレゼントしよう。

○Activity 文房具セットを作り、友達に送ろう。

Look. This is for ○○ sensei.

I have three blue

pencils. One eraser.

I have a blue ruler. I have a blue stapler. Two notebooks. One blue marker.

○○ sensei likes blue.

ue.

○学習の振り返りをする。

・ペアを作り、一方に文房具カードを置き、自分の文房具セットを作らせる。

・文房具を見せ合わないよう、ペアの文房具を尋ねさせる。

・活動に入る前に、デモンストレーションをし表現の確認をすることで、自信をもち、活動に入れるようにする。

【評】 ペアの子の文房具を予想し、尋ねる活動を通して、「知識・技能」を評価する。

・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

・2～3回繰り返す。

・指導者も一緒になって言い、楽しい雰囲気をつくる。

・お店屋さんごっこの要領で、文房具品を渡す側ともらう側に分ける。

・"Do you have …?" "Yes, I do. Here you are."

"No, I don't. Sorry." などとやり取りをして必要な物を集めさせる。

・紙に集めた絵カードを貼って、文房具セットを完成させる。

・ワークシート(Unit 5-1、5-2)から切り取った文房具のカードを使用させる。誰のためにどのようなセットを作ったかを紹介させる。

・理由が複雑な場合は、日本語も使ってよいこととする。

【評】 作った文房具セットについて説明する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【評】 作った文房具セットについて説明する活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

【 備 考 】

※言語材料

・Do you have …? Yes, I do. / No, I don't.

・This is for you.